

や な い づ

社 協 だ よ り

お知らせ版 「どうも」 平成30年 1号

平成30年8月 発行

社会福祉法人 柳津町社会福祉協議会

会長 猪俣 俊晴

〒969-7201

柳津町大字柳津字下荒町 1111 番地

Tel 42-3418 Fax 42-2727



高齢になっても
自分らしく生きよう！！



柳津町では平成30年度より生活支援体制整備事業が始まりました。

生活支援体制整備事業とは、すべての人が住み慣れた地域で生きがいを持って生活ができるよう、介護予防を重視しながら、**住民の方が主体**となって「**支え合い**」活動ができるよう**地域づくり**を進めていく事業です。

今後高齢者人口がさらに増えていく中で、地域での支え合いはとても重要です。

なぜ今「支え合い」が必要なの？

・ 財政的な問題

超高齢化・少子化・核家族化がすすみ、認知症者も大幅増が予測されます。これまでの形では社会保障費はおよそ不足し、大増税かサービスの大幅切り捨てかを選ばざるを得ません。限られたお金を有効に活用し、今ある制度、福祉サービスを持続可能なものとし、よりよく暮らし続けるために地域での支え合いは必要です。

・ 日常生活での困り事などの増加

高齢者の増加により、医療・介護支援の必要性が高まります。また、単身世帯の増加による孤立化や、買い物・移動・ごみ出しなどの困り事を抱え、日常生活を送るために支えを必要とする人が増えると考えられます。

・ 支え合い活動が介護予防につながる

社会の担い手が少なくなる中、高齢になってもできるだけ健康を保つには、地域でのボランティア活動やお茶飲みなどの交流の場への参加が効果的です。高齢になっても、地域の中で役割を担って生活することが介護予防につながります。

「**支え合い**」ってどんなこと？

日々の生活のなかで起こるゴミ出しや庭の草取り、買い物などの生活上の困りごとを皆さんで助け合うことです。お茶飲みや、一人暮らし高齢者への見守りや声掛け等も支え合いのひとつです。



生活上のちょっとした困りごとのお手伝い



一人暮らし高齢者への声掛け、見守り



近隣の方とお茶飲み



交流の場への参加

支え合いにより、なじみの関係や地域とのつながりを維持することが、その人らしい生活の継続につながります。

支え合える地域づくりをすすめていくには 住民みなさんの力が必要です！！

具体的に「**地域づくり**」とは？

通いの場づくり

介護予防や顔なじみの関係ができるように運動や体操、お茶飲みやおしゃべりなど、趣味や関心に合わせて地域の皆さんが気軽に集まれる場所を作ります。



話し合いの場づくり

地域にどのような課題があるのか、解決するには何が必要かなど、情報交換や話し合いができる場をつくり、地域で助け合い・支え合いができるような仕組みを考えていきます。

地域づくりを進めていくには…

地域のみなさんで、地域の強みや良いところ、特性などといった情報を把握、整理していくことが必要です。整理することで、地域に足りないもの、課題が見えてきます。可能な限り住み慣れた地域で元気に安心して暮らせるよう、自分達でできることなどを話し合いの場を通して考えていきましょう。

柳津町では既に行われている支え合い活動がたくさんあります。昔から何気なく行っていることなので、みなさん特別なことだと思っていないのです。既に行われている活動は地域の宝としてこれからも継続していくことが大切です。

社会福祉協議会では、**地域づくりをサポートします！！**

生活支援コーディネーターと地域の皆さんで協働し、気軽に集まれる通いの場や話し合いの場を通して、助け合い・支え合い活動がさかんな地域づくりを一緒にすすめていきましょう！！

地域で行われている支え合い活動がありましたら、生活支援コーディネーター白井陽子までご連絡ください。よろしくお願いします！！ 柳津町社会福祉協議会 TEL 42-3418